

潰瘍性大腸炎は厚生労働省の難治性疾患に指定されているが、新たな治療薬が承認されるなど治療法は日々進歩し続けている。先ごろ開催した日経健康セミナー21「増え続ける潰瘍性大腸炎～日本の治療はどこまで進歩しているか」(主催・日本経済新聞社、後援・厚生労働省、協賛・田辺三菱製薬)では、最新の治療法などが紹介された。

新たな治療薬承認で病気の「自然史」が変わる

はじめに 厚生労働省難病研究班の取り組み

渡辺 守氏

厚生労働省難治性疾患克服研究事業班班長・東京医科歯科大学医学部消化器内科教授



私は5歳から30年間喘息の発作を繰り返していましたが、34歳でホス
トンへ留学して以来、帰国後も全く
発作がありません。喘息は完治した
わけではなく、発作がないとい
うことは患者にとっては治ったよ
うなもの。今回のテーマである潰瘍
性大腸炎も
適切な治療を
受けること
で、症状が出ないようにできるの
です。

病気の理解を促しQOL向上を図る

潰瘍性大腸炎は炎症性腸疾患の1
つで、大腸の表面に炎症、ときには
潰瘍をつくる病気です。慢性で原因
不明、根本治療がなく、厚生労働
省の難治性疾患(難病)に指定されて
います。
大腸炎の患者数は近年非常に増え
ており、2008年現在11万人。難
病の中で最も患者数が多いのが特徴
です。米国ではボジューナー病氣
で、故ケネディ大統領も潰瘍性大腸
炎でした。潰瘍性大腸炎でも大統領
になり、そのうち30%は手術をす
ることになってしまつたというデー
タがあります。
また、手術をしても治療は終わ
りにはなりません。腸管は丈夫
でも夜寝ている間に便が漏れてし
まう。大腸を全摘し小腸を肛門に
縫い付けても、小腸に炎症を起す
こともあるのです。
今回承認されたインフリキシマ
プは、潰瘍性大腸炎の自然史を変
えてくれる薬として大きな期待が
寄せられています。できるだけ早
期にインフリキシマプ治療を開始
すれば、手術を回避することも可
能になったのです。
臨床試験では、インフリキシマ
プの投与で入院も手術も減らせる
ことが多くなくなっています。
この役割を担っています。
点滴前には、血便回数、血圧、
体温などの問診調査と血液検査を
毎回実施しています。点滴中は、
患者さんが苦痛を感じていないか
など異常を察知するよう努めま
す。同時にこの時間は、患者さん
治療の目標は医師の満足ではあ
りません。患者さんの満足こそ
が、医療スタッフの喜びになりま
す。インフリキシマプの治療を受
ける患者さんの効果を最大化する
には看護師の力が大きな力を揮
っています。これからも頑張ってい
きます。

第1部 講演I 進歩し続ける潰瘍性大腸炎治療

日比 紀文氏



慶応義塾大学医学部消化器内科教授
大学を卒業した73年に厚生省(現厚
生労働省)特定疾患調査研究班が発
足しました。本日に、診断も治療も
分からない時代です。以降、
もう一つの炎症性腸疾患であるク
ロhn病と一緒に研究を進め、私は2
002・06年に班長を務めました。
この病は、遺伝的に免疫異常を
起こしやすい体質に、腸内細菌や食
生活・喫煙などの環境因子が関与し
て消化管に炎症をもたらすと考えら
れています。そこで以前は、生活習
慣を改善しながら、炎症や免疫異常
を調整する薬を使用し、どうしても
だめなときは手術で大腸を切除する
という治療をしてきました。今注目
されているのは、免疫抑制療法で
重症の患者さんに向いた薬は、以前は炎
症を抑える5-ASA、中等症から
重症の患者さんに向いた副腎皮質ス
teroid薬(ステロイド)、免疫調節薬
アザチオプリンなどが登場しまし
た。

寛解導入から維持へ、広がる治療の選択肢 根本原因の解明と根本治療の実現めざす

寛解導入から維持へ、広がる治療の選択肢
根本原因の解明と根本治療の実現めざす
潰瘍性大腸炎は、寛解導入から維持
までの薬で継続治療することが
特徴です。
今では、さまざまな研究により多
くのことが判明し、適切な治療の
選択が可能になりました。正確な診
断、病態把握、それに基いた適切
な治療を行うことで、その後の潰
瘍性大腸炎をコントロールできるよ
うになったのです。例えば、ステロ
イドの効果を示さないステロイド抵
抗性、減量により再発するステロイ
ド依存性の潰瘍性大腸炎は、軽症
・中等症の場合は血球成分除去法
で重症の場合はタクロリムスで寛
解導入する。またはインフリキシマ
プを用いる。何度も再発する場合は
アザチオプリンを使う、というよう
に治療の選択肢が広がっています。
やむを得ず手術をする場合でも、術
後に普通生活ができる人が多くな
っています。
潰瘍性大腸炎は、患者さん、医師
はもう一つ、関わる人たちが正し
く理解し、適切な治療すれば、ほ
とんどの人が改善します。そして
今、私たちの研究は、もっと体に優
しく治療していく方法を考える時代
に入ってきました。より進んだ治療
法を実現するには、関連するあらゆる
診療科が一緒に免疫抑制療法
を進めることが必要です。これから
も私たちは、潰瘍性大腸炎の根本原
因の解明と根本治療をめざし研究に
まい進していきます。

第2部 講演II 専門施設での治療の実践

医療法人錦秀会
インフュージョニククリニック院長 伊藤 裕章氏



インフリキシマプの登場で、難
治性の炎症性腸疾患の治療は大き
く進歩しました。この薬は既にク
ロhn病、ベーチェット病、関節
リウマチ、乾癬(かんせん)など
で効果が確認されています。そし
て今年6月、中等症から重症の潰
瘍性大腸炎への使用が日本で承認
されました。

外来で対応可能な点滴治療

よく効き、投与して30日後に約80
%以上の人に効果が見られます。
ところが、寛解を維持しながらス
teroidを減量していく際、1年
後にやめられるのは半分くらい。
半分の患者さんがステロイド依存
の役割を担っています。
点滴前には、血便回数、血圧、
体温などの問診調査と血液検査を
毎回実施しています。点滴中は、
患者さんが苦痛を感じていないか
など異常を察知するよう努めま
す。同時にこの時間は、患者さん
治療の目標は医師の満足ではあ
りません。患者さんの満足こそ
が、医療スタッフの喜びになりま
す。インフリキシマプの治療を受
ける患者さんの効果を最大化する
には看護師の力が大きな力を揮
っています。これからも頑張ってい
きます。

最新治療現場での看護師の取り組み

第2部 講演III
医療法人錦秀会
インフュージョニク看護師 阪上 佳登子氏



インフリキシマプの投与を維持
し効果を最大化するには、患者さ
んの理解が欠かせません。医師が
など異常を察知するよう努めま
す。同時にこの時間は、患者さん
治療の目標は医師の満足ではあ
りません。患者さんの満足こそ
が、医療スタッフの喜びになりま
す。インフリキシマプの治療を受
ける患者さんの効果を最大化する
には看護師の力が大きな力を揮
っています。これからも頑張ってい
きます。

効果を最大化する役割担う

と大事なコミュニケーション
です。最新の治療施設は、ゆ
ったりとした椅子に座りテレビを見
たり音楽を聴いたりしながら点滴
が受けられるようになっています。
リラックスできる環境なの
で、鼻歌を歌い出す患者さんもい
るんですよ。
治療の目標は医師の満足ではあ
りません。患者さんの満足こそ
が、医療スタッフの喜びになりま
す。インフリキシマプの治療を受
ける患者さんの効果を最大化する
には看護師の力が大きな力を揮
っています。これからも頑張ってい
きます。

Q&Aコーナー



■講師■ 伊藤 裕章氏・阪上 佳登子氏
■コーディネーター■ 好本 恵氏
(アナウンサー・十文字学園女子大学客員教授)



好本 恵氏
300以上寄せられた質
問の中から代表的なものを選び、
伊藤先生・阪上さんにお聞きしま
す。
Q1 潰瘍性大腸炎と一般的な
神経性の下痢などは自覚症状は
どのように違つていしょうか。
伊藤 一番の違いは血が出るか
どうかです。潰瘍性大腸炎は、炎
症から潰瘍ができ、粘膜がたれた
ところから血がにじみ血便が出
てきます。一方、ストレスから起
る過敏性腸症候群では血便は出ま
せん。また腸の炎症が激しい場合
は全身の炎症症状を起すことも
あります。
Q2 潰瘍性大腸炎の患者は、
就労や就学が可能ですでしょうか。
阪上 入院が必要な患者さんは
別ですが、寛解が維持できてい
れば普通に生活できると思います。
実際に当院でも、多くの患者さん
が学校や会社に通いながら治療
を受けています。
Q3 職場に潰瘍性大腸炎の患
者がいる場合、職場環境や周囲の
配慮を経営者として注意すべき
点を教えてください。
伊藤 ちょっとした思いやりだ
けでも患者さんの気持ちは随分変
わります。気にしないでトイレに
行ける、引け目を感じずにトイレ
で済ませたいという環境づくりを心
掛けていただければいいですね。
Q4 食生活や嗜好品を気をつ
ける点はありますか。
伊藤 活動性の炎症症状がある
ときは、繊維質、脂肪、刺激物は
避けた方がいいでしょう。寛解状
態にあるときは、食事が再発に影
響する訳ではないので、特に注意
する必要はありません。アルコ
ールも同様です。
Q5 息子が潰瘍性大腸炎にな
りました。体重が10%減り、血便
で貧血にもなっています。主治医
は大腸切除を進めていますが、そ
の前にできることはありますか。
伊藤 今は、内科的治療で
るが増えました。血球成分除去
療法、日本に開発された薬タク
ロリムス、さらに6月に承認され
たインフリキシマプなど、これ
まで手術が必要だった患者
さんを救えるようになっています。
状態が危ないから手術と相談
してください。
Q6 長期間ステロイドを使い
続けています。このまま使い続
けて大丈夫でしょうか。
伊藤 ステロイドは投与期間と
総投与量に比例し副作用が起る
可能性が高くなります。ステロイ
ド減量効果や離脱効果のある薬、
アザチオプリンやインフリキシマ
プなどを使い、ステロイドを減ら
しめたいという思いが強まってい
くようになります。
Q7 寛解期で症状は安定して
います。内視鏡で見ても問題ない
のですが、薬を止めようとしてい
るのですが、薬を止めた後どう
なるか。
伊藤 残念なことに、薬をや
めると寛解が分かっていません。
従来薬の場合、薬をやめて
1年間で再発する人が約半数とい
うのが現状です。症状がないのに
薬を飲み続けるのは苦痛がもたら
しますが、再発防止は服用を続
けたいです。
Q8 潰瘍性大腸炎の患者は妊
娠や出産は可能ですか。
伊藤 妊娠のためには、まず潰
瘍性大腸炎の病態をコントロール
することが必要です。適切な治療
により寛解導入を図り、寛解を維
持すれば妊娠も可能なものです。
好本 心配なところは、先づ方
に何と聞くと一番いいですか。
また、田辺三菱製薬が開発してい
る潰瘍性大腸炎の患者さんに応
援するウェブサイト「UCフロン
ティア」をはじめ、インターネット
上の情報も参考にしてください。
伊藤先生、阪上さんのおかげで
さいました。